

第60回 公開講座

大学生のジェンダー意識

— 2008年関西大学学生の意識調査から —

日 時 2009年11月27日 (金) 13:00~14:30

場 所 千里山キャンパス 尚文館 1階 マルチメディアAV大教室

講 師 ^{もり なおこ}
守 如子 (社会学部専任講師)

大学生は将来、どのような生き方をしたいと考えているのだろうか…専業主婦(主夫)になりたいのか、仕事に専念する生き方をしたいのか、あるいは家庭と仕事のバランスをとりたいのか? 専業主婦志向の女子学生と生涯仕事を続けたいと考えている女子学生の間に異なる傾向はみられるだろうか? 男子学生と女子学生の間に意識の違いはみられるだろうか? 女子学生が直面している困難や、男子学生が直面している困難とは何だろうか?

関西大学人権問題研究室ジェンダー研究班は、2008年9月に「大学教育とジェンダー：2008年関西大学学生の意識調査」を実施した。関西大学全学部の1年次生と3年次生(2008年度)から無作為に抽出した男女各1000名を調査対象とし、郵送で調査を行ったところ、814名の回答を得ることができた(回収率40.7%)。本研究班(旧女性問題研究班)は、これまでも1987年、1993年、2002年の3回にわたって関西大学の学生を対象とした意識調査を行ってきた。今回の調査は、学生のジェンダー意識や、仕事観・結婚観などを把握するとともに、これまでの調査との比較を通して、学生の意識の変化を明らかにすることにも重点を置いている。また、今回の調査では、ジェンダー問題に関して大学に何を期待するかについても尋ねているのだが、ジェンダーの視点にたった就職活動支援が強く求められていたことも興味深い。本講座では、これらの調査によってえられた知見を紹介するとともに、大学に求められているものは何かについても調査にそくして明らかにしていきたい。

1. 関西大学生の女性観・男性観
2. 関西大学生のライフプラン
3. 関西大学生の男女平等意識
4. 関西大学生が大学に望むこと

この調査の自由記述欄には、調査結果を公開する場をつくることによって、学生自身もジェンダー問題の現状を考える機会が必要だとする声もみられた。調査にご協力いただいた学生のみなさんに感謝するとともに、本講座がさまざまな立場のみなさんの「考える機会」になることを期待している。

* * *

●聴講無料 予約は不要です。多数のご来場を歓迎します。
手話通訳が必要な場合は、11月19日(木)までに人権問題研究室へご連絡ください。

主 催 関西大学人権問題研究室

〒564-8680

吹田市山手町3-3-35 阪急千里線「関大前」駅下車

Tel 06-6368-1182 Fax 06-6368-0081

ホームページ <http://www.kansai-u.ac.jp/hrs>